

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成28年6月27日 NO.13(111)

6月25日(土) 道徳授業地区公開講座より



意見交換会



1年生の授業

6月25日(土)の道徳授業地区公開講座には、450名程の保護者・地域の皆様のご来校をいただき、誠にありがとうございました。ご参会の皆様にご心より御礼感謝申し上げます。2・3時間目は、各クラスで道徳の授業実践が行われ、どのクラスの授業も、児童に自分の生活について振り返りの時間をしっかりと丁寧に取り組むような手立ても見られました。これは、日常の道徳授業の充実ぶりを示すものであると、国立市教育委員会の荒西先生よりお褒めのお言葉をいただくこともできました。先生方も、前日までにあれこれと教材研究や教材づくりに励んだ成果が見られ、やり切ったという達成感でほっとしていました。今後も、更なる道徳授業の改善や様々な工夫に期待し、全力で指導・助言、応援をして参りたいと思います。

その後、4時間目に実施された記念講演会でも、70名程の方々が参加してくださいました。講師には、毎年お願いしている指導主事の荒西岳広先生を招聘し、「失敗談から学ぶ親の心得」という演題でご講演をいただきました。子育て真っ最中の荒西先生は、ご自身の様々なご体験を交え、明るくユーモアたっぷりと参加者と共感しながらも、多くの学びの場となる素晴らしい講演会でありました。終了後のたくさんの大きな拍手と、参加者の満足した笑顔がとても印象的でありました。ここに改めて講師の荒西先生にご心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今回の道徳授業地区公開講座を通し、子供たちの道徳的な態度や実践力の伸長を願うと共に、保護者・地域の皆様に道徳授業の理解と支援をして頂ければ幸いです。

6月22日(水) セーフティ教室より

今回のセーフティ教室において、低学年では、教材ビデオやロールプレイングを通して、自分の命は自分で守ることを学びました。また、高学年では、ネット社会の危険についての認識を新たにし、『SNS東京ルール』等についての理解も深めることができました。さらに、万引きが犯罪であることを理解し、万引き防止や物を大切にすることを育てることもねらいとして実施しました。

今回も現職警察官の方々を講師としてお迎えしましたが、子供たちは、皆、真剣に話を聞くことができていました。本来、子供を取り巻く環境は、安全で安心でセーフティでなければなりません。現状は非常に厳しいものがあります。学校・保護者・地域が一丸となり、子供たちを守っていかねばならないと強く感じた次第です。



セーフティ教室



警察官の皆さん